

音楽がつなぐ3世代のステージ

秀峰中等教育学校 オーケストラ部 15日まつもと芸術館で定期演奏会



本番に向け練習に励む部員と共に指導する新井さん(左)

松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校オーケストラ部(顧問・瀬川伸教諭、62人)は15日午後2時、同市深志3のまつもと市民芸術館主ホールで第4回定期演奏会を開く。創部5年目で初めて5学年がそろい、1期生は同演奏会で卒部を迎える節目のコンサート。部員は練習に励んでいる。

(井出順子)

ベートーベン「交響曲第7番」、メンデルスゾーン「バイオリン協奏曲」第1楽章、「となりのトトロ」を披露。

んど初心者だった部員が2年前の定期演奏会で初めて挑戦した交響曲。思い入れが深く、今回のメインプログラムに選んだ。

同部は同校が開校した2010年に11人で創部。全員初心者で弦楽器のみで構成した。瀬川教諭(37)の教え子で信州大学大学院理工学系研究科2年の新井光一郎さん(25)が指導に協力し、5年間、練習を重ねてきた。部員も増え、現在は弦楽器と管楽器がそろうオーケストラになった。

今回、新井さんはメ

ンデルスゾーンで出演し、瀬川教諭がタクトで部員を率い、音楽がつないだ3世代のステージが実現する。

創部から部長を務めた滝澤愛さん(17、同市内田)は「うまくなるのに時間がかかるが、全員が一つになる時間が音楽の楽しさ。悔い」と話す。

入場無料、予約不要。問い合わせは同校・8311

いの残らない演奏をしたいし、私たちの精いっぱいを聴いてほしい」。

瀬川教諭は「5年間でよくここまでやった。成長を見届けたい」と話す。